

えいがかん こども映画館 スクリーンで見る 日本アニメーション!

2018.3.24[土]・3.25[日]・3.31[土]

かわさきししきん
川崎市市民ミュージアム

フィルムで上映される映画を見てみよう!
大きなスクリーンで見ると楽しいよ!



たんへん
短編プログラム ▶3.24[土]・25[日]・31[土] 11:30

NFC短篇集:

どうぶつ

えいが

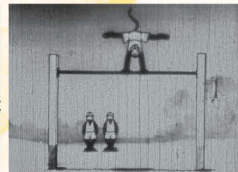
いろいろな動物の映画



『もりのおんがくたい』



『こねこのらくがき』



『体育デー』

かわいいどうぶつたちがでてくる、みじかい映画4本。ずっとずっと前から、
いろいろなやりかたでアニメーション映画がつくられていたんだよ。



『人魚』(1964年/カラー/スタンダード/35mm/8分/監督:手塚治虫)

『もりのおんがくたい』(1960年/カラー/スタンダード/35mm/14分/監督:神保まつ三)

『こねこのらくがき』(1957年/モノクロ/スタンダード/35mm/12分/監督:荻下泰司)

『体育デー』(1932年/モノクロ/スタンダード/35mm/9分/無声/監督:村田安司)

日本のアニメーション短篇映画は豊かで長い歴史があります。後世に影響を及ぼした
クリエイターたちによる作品を選りすぐった短篇集プログラム。

ワークショップ

3/24[土]・25[日]・31[日] 11:30 《いろいろな動物の映画》

上映後に、ワークショップを行います。

★くるくるアニメをつくってみよう～マジックロール・ワークショップ～

★映画をうつす機械を見てみよう～映写室見学～

◆対象:《いろいろな動物の映画》の上映をご覧になったお子様とその保護者

◆参加費:無料(事前予約不要) ◆所要時間:それぞれ約10～15分程度



ちようへん
長編プログラム ▶3.24[土]・25[日]・31[土] 14:00

ながくつ

ねこ

長靴をはいた猫



ねこのペロが かつやくする ぼうけんファンタジー。
ローザひめのおむこさんがして町はおおさわぎ。
ペロは、やさしいピエールをおむこさんにしようとするが、
ライバルのまおうルシファーをたおせるのか!?



1969年/カラー/シネマスコップ/35mm/80分
監督:矢吹公郎/原作:シャルル・ペロー/脚色:井上ひさし、山本護久
作画監督:森康二/音楽:宇野誠一郎/美術:浦田又治、土田勇
声の出演:石川進、藤田淑子、榊原ルミ、水森亞土、水垣洋子、熊倉一雄、小池朝雄
東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵

シャルル・ペローの童話をもとに、アクションとユーモアを盛り込んだ名作アニメーション。東映動画による「東映まんがまつり」の第一弾として劇場公開された。



ホール客席数:270名/自由席/入替制 ※開場は15分前(混雑状況により開場時刻が早まる場合があります)

【入場料金・1プログラムにつき】

当日券:一般600円、高校・大学・65歳以上500円、小中学生以下無料
(障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)

【チケット販売時間/当日券のみ】

●朝の販売時間は10:30～(12:30まで) ※午前・午後の2回分とも販売
●昼の販売時間は13:00～(15:00まで) ※午後の1回分のみを販売

川崎市
市民ミュージアム

〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL:044-754-4500 FAX:044-754-4533
http://www.kawasaki-museum.jp 武蔵小杉駅から徒歩約10分/溝の口駅から徒歩約20分

※当館に専用駐車場はありません。お車でお越しの方は等々力緑地内駐車場(有料)をご利用ください。駐車料金ご利用の割引等はございません。

この企画は、フィルムの上映環境を確保するための「Fシネマ・プロジェクト」の一環として、
コミュニティシネマセンターの会員館を中心にフィルムセンターと共催で全国で実施するものです。

主催:川崎市市民ミュージアム 一般社団法人コミュニティシネマセンター 東京国立近代美術館フィルムセンター 特別協賛:木下グループ



木下グループ

